

## 令和3年度第4回岡崎市景観審議会議事録

1 会議の日時 令和4年3月11日(金) 午後2時00分～午後3時00分

2 会議の場所 岡崎市役所西庁舎5階 502会議室

### 3 会議の議題

- ・ 諮問第4号 岡崎市景観計画の変更(案)について

### 4 会議に出席した委員(13名)

学識経験者	島津 達雄
学識経験者	瀬口 哲夫
学識経験者	杉野 丞
学識経験者	中根 克弘
学識経験者	長谷川 明子
学識経験者	堀越 哲美
学識経験者	森 真弓
各種団体	天野 裕
各種団体	横山 正登
各種団体	後藤 仁
各種団体	河内 利弘
各種団体	柴田 芳孝
公募市民	稲垣 理恵子

### 5 事務局

都市政策部まちづくりデザイン課	課長	市川 正史
都市政策部まちづくりデザイン課	副課長	小林 雄一郎
都市政策部まちづくりデザイン課	景観まちづくり係係長	井尻 智久
都市政策部まちづくりデザイン課	景観まちづくり係主事	神尾 実沙
都市政策部まちづくりデザイン課	屋外広告物係技師	森 大輝

### 6 会議の公開の可否について

本日の会議について、事務局から岡崎市景観審議会運営規程並びに岡崎市情報公開条例における会議の公開及び非公開に関する諸規定の説明を行うとともに、諮問第4号を公開すべき旨の提案をしたところ、全会一致で承認された。

## 7 議事録署名者の指名

瀬口会長が議長として堀越委員及び後藤委員を議事録署名者に指名した。

## 8 諮問第4号 岡崎市景観計画の変更(案)について

議長が諮問第4号に関する説明を求め、提出した資料に基づき事務局(まちづくりデザイン課)による説明が行われた。そして次の趣旨の質疑がなされた。

瀬口会長

岡崎市景観計画(案)5枚目 乙川の景観特性について、菅生川端石垣が1644年築造とあるが、根拠はあるか?

事務局

確認します。

横山委員

道路には街路樹があるが、街路樹に関する基準は何かあるか。

事務局

景観計画(案)6枚目裏面 景観重要道路の緑化について記載のとおり。施設管理者との協議の中で、景観担当部局として「緑量の増加」を求めたが、維持管理等の問題から、「緑量の維持」となった経緯がある。

横山委員

街路樹がどんどん伐採されていく現状を、市はどのように捉えているか。

事務局

道路管理者からの情報を共有する。本市では、街路樹が大木化や高齢化しており、視認性の低下による交通安全面や、倒木の危険性などの防災面での課題、また、落ち葉などの対策として行う強剪定による景観面での課題がある。今後、さらなる樹木の大木化や高齢化が進むことや、道路をとりまく環境、財政状況を勘案すると、街路樹の維持管理に関する新たな取組みを検討する時期にあると考えている。「岡崎さくら100年プロジェクト」などの施策に取り組みながら、名古屋市や豊橋市の「街路樹再生指針」を参考に、岡崎市も街路樹の維持管理に関する計画等の策定を検討していきたい。

#### 横山委員

無電柱化の推進に伴って、街路樹がなくなってしまうのは寂しい。電柱がなくなった場所に街路樹を植栽するなど検討してほしい。

#### 長谷川委員

景観計画（案）6枚目裏面 整備方針について、例えば「生物多様性保全を念頭に、生態系ネットワーク形成に寄与するよう植栽を行う」など、さらに一歩踏み込んだ内容を記載してほしい。

#### 島津委員

景観計画（案）の赤字は追加なのか変更なのかわからないので、新旧がわかるようにすべき。

#### 事務局

赤字は、追加及び変更部分全てを示している。黒字は現行から変更していない。

#### 天野委員

景観計画（案）6枚目裏面 イ景観重要道路の整備方針について、歩道の幅員が確保された道路のみ、緑量の維持に努めれば良いとも捉えられる。商工会議所から東に向かう道路（市道竜美丘5号線）は、街路樹のケヤキが良好な景観形成に寄与していたが、バリアフリー化の工事で撤去された。同様に、野鳥の森以北は現在もケヤキが残っているが、今後撤去されてしまう可能性がある。現行法では難しいかもしれないが、街路樹を残すことに対しても手を打つべき。

#### 瀬口会長

説明資料4ページ 景観重要公共施設の位置図について、現在街路樹がある路線、将来的に緑量の維持が可能な路線などを把握しておくべき。道路管理局と連携し、街路樹の維持管理だけでなく景観面も配慮してほしい。

#### 河内委員

景観計画（案）5枚目 中心市街地地区の景観特性や歴史的背景などに関連して、すでに歴史的建造物等がなくなっているが、公共施設だけでなく、民間に対して景観形成を誘導していく考えはあるのか。

## 事務局

景観重要公共施設の指定によって、管理者の異なる施設においても一体的な整備を目指すことができる、施設周辺エリアにおいて、景観に配慮したまちなみが形成される、という効果を期待している。民間に対しては、景観重要公共施設の制度だけでなく、景観形成重点地区制度の検討も進めており、実際、地元と話を進めている地区もある。景観形成重点地区に指定する際は、本審議会にて内容を確認していただくことになる。

## 横山委員

現在の道路は車優先になっている。今ある道路ベースで考えるのではなく、長い目で見て、車優先から人優先になるよう検討して行ってほしい。

議長が諮問に関する質疑の終結を宣言した後、この件について採決を行った結果、全員同意となった。この結果をもって、原案を了承し、その旨を答申することについて全会一致で決定した。

## 9 その他連絡事項について

### 事務局

次回、岡崎市景観審議会は来年度6～7月頃に開催予定。

前回審議会の報告議題「ふるさと景観資産の選定の解除」について、名木の再利用に関して複数意見があったので、現在の状況を報告する。2月4日に伐採を行ったところ、木は空洞化などしておらず、3メートル程度に切って保管しており、再利用できそうとのこと。再利用の一つとして、森委員の提案により、大学のプロジェクトと連携する動きがある。

### 森委員

大木から拍子木を作り、音や触感で木のストーリー性を残すプロジェクトを行っている。所有者も再利用を検討しているとのことなので、今のところは、所有者にプロジェクトのことを伝え、端材を使って何かできればと考えている状況。

### 天野委員

意見を活かしてくれて感謝する。岐阜県瑞浪市の大湫神明神社で、御神木が倒木してしまった際、岡崎市の三浦太鼓が太鼓を作ったと聞いたので、情報共有する。

また、田町の東海道岡崎城下二十七曲り沿いにある龍城温泉が昨年4月から

休業している。龍城温泉は、大正 14 年に建てられた銭湯。今の所有者が銭湯を継続するのが難しいということなので、建物を存続させる形で事業継承できないか、各方面に働きかけているところ。建物存続の目処がたてば、価値を見出し、景観重要建造物に位置付けるなどして残してほしい。

議長が全ての議事日程の終了を告げ、令和 3 年度第 4 回岡崎市景観審議会を閉会した。